

JFE トンボみち

JFE エンジニアリング（株）の敷地内にあり、同社が整備したこの遊歩道は市民の憩いの場でもあります。2016年は6月から10月まで毎月調査を開催し、トータルで47名の親子がトンボを追いかけました。

2016年は①アキアカネの大量捕獲、②ネキトンボの連続登場、③ギンヤンマの復活という特長もありました！

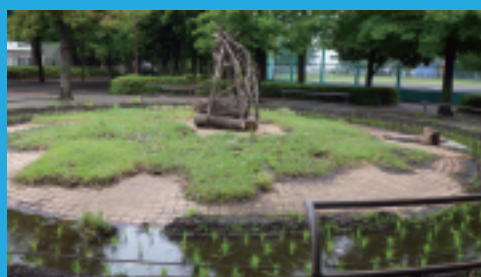
（トンボみちファンクラブ 柴田芳宏）



入船公園

鶴見区にある入船公園（指定管理者：（株）日産クリエイティブサービス）では毎年6月～10月の各月1回トンボとり大作戦を行っています。今年は8月は中止となってしまいましたが、8月をのぞく4ヶ月で1回ずつ調査を開催、計44人の親子が参加しました。子どもたちが思い切り網をふるいトンボを追いかける様子に大人たちもにっこり。

（入船公園所長 桐山義志男）



特別版

キリンビール横浜工場

通常は本調査地であるキリンビール横浜工場でも、初めて親子の参加による調査が行われました。

キリンビールはトンボフォーラムをはじめ、地域に生きものにぎわいを取り戻す取り組みに積極的に参加しています。本年度の調査ではオオヤマトンボを含む7種91頭が確認されました。（キリンビール（株）丹野優）



全国トンボ市民サミット 横浜設立準備ミーティング でトンボ調査報告を行いました

全国のトンボと自然を観察する市民や研究者が集う「全国トンボ市民サミット」。

2019年には第30回が開催予定です。2017年2月9日（木）、横浜大会の設立準備ミーティングが開催され、当会のトンボ調査の報告を田口正男先生より行いました。

タイトルは「生物多様性…今、都市でできることは」。

生息場所の保全と創生、移動交流の確保、質の向上（池の設置など）が図られればエコロジカルネットワークが形成されるという内容です。

他団体からは舞岡中学校の宮崎先生から科学部の「舞岡川ハグロトンボ調査」の報告が続いて、2019年に横浜



で開催予定のトンボサミットに参加する10団体ほどの活動紹介がありました。

その後は横浜大会開催に向けて、テーマごとにテーブルに分かれて意見交換を行い、活発な議論がなされました。開催が待ち遠しいですね！

新しい調査地

本牧市民公園

富岡総合公園

長浜公園

公益財団法人横浜市緑の協会とは？

「公益財団法人横浜市緑の協会（以下、緑の現在では、市民、企業、各種団体等の寄付推進事業や緑の街づくり事業といった普及啓発また、市民にはおなじみの市内3つの動物各施設・公園を良好に管理するとともに、市の推進などを行っています。

